

---

---

---

---

リダンダント電源装置・追加電源ユニット

CentreCOM® **RPS9000**

CentreCOM® **PWR9000**

---

# インストールレーションガイド

# 安全のために



必ずお守りください

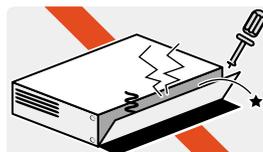


## 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

### 分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

### 雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

### 異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

### 通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

### 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

### 表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。  
本製品は AC100 - 240V で動作します。  
なお、本製品に付属の電源ケーブルは 100V 用ですのでご注意ください。



電圧注意

### 正しい電源ケーブル・コンセントを使用する

不適切な電源ケーブル・コンセントは火災や感電の原因となります。  
接地端子付きの3ピン電源ケーブルを使用し、接地端子付きの3ピン電源コンセントに接続してください。



3ピン  
コンセント

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

## 設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを  
抜く

## 電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・熱器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

# ご使用にあたってのお願い

## 次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



## 静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



## 取り扱いはいねいに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



## お手入れについて

### 清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



### 機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤  
使用



強く絞る

### お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん  
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)



シンナー  
類不可

---

## ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。  
当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。  
また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

---

## 商標について

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。  
本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

---

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

---

## マニュアルバージョン

2003年 7月      Rev.A      初版

# はじめに

このたびは、CentreCOM RPS9000/CentreCOM PWR9000をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本製品は、弊社インテリジェント・スイッチ専用のリダンダント電源装置です。本製品の使用により、停電や電源ケーブルの断線・接続不良、電源ユニットの故障といった電源障害によるスイッチ本体の機能停止を防ぎます。

本製品は4つの電源ユニット用スロットを装備しているため、オプション(別売)の追加電源ユニット「CentreCOM PWR9000」を追加すれば、最大4台のスイッチに電源を供給することができます。

※ CentreCOM RPS9000 は、CentreCOM PWR9000 が 1 台装着された状態で出荷されます。

## 表記について

### アイコン

このマニュアルで使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン	意味
 ヒント	知っておいていただきたい点やポイントとなる点を示しています。
 注意	気を付けていただきたい点を示しています。
 警告	人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。
 参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

### 書体

書体	意味
Screen displays	画面に表示される文字は、タイプライター体で表します。
User Entry	ユーザーが入力する文字は、太字タイプライター体で表します。
	四角枠で囲まれた文字はキーを表します。

### 製品名の表記

「本製品」と表記している場合は、CentreCOM RPS9000 と CentreCOM PWR9000 の両方を意味します。また、本書では、製品名中の「CentreCOM」は一部を除き省略しています。

# 目次

安全のために .....	2
はじめに .....	5
表記について .....	5
1 お使いになる前に .....	7
梱包内容 .....	7
特長 .....	7
対応機種・ソフトウェアバージョン .....	7
2 各部の機能と名称 .....	8
前面 .....	8
背面 .....	9
3 設 置 .....	11
設置するときの注意 .....	11
19インチラックに取り付ける .....	11
4 接 続 .....	13
スイッチに接続する .....	13
電源ケーブル抜け防止フックを取り付ける .....	14
5 追加電源ユニット .....	15
PWR9000 の梱包内容 .....	15
PWR9000 を取り付ける .....	15
6 電源状態のモニター .....	16
状態監視(RPSMONITOR)を有効にする .....	16
LED の表示 .....	16
コマンドラインインターフェースの表示 .....	17
7 仕 様 .....	18
コネクタの仕様 .....	18
本製品の仕様 .....	19
8 保証とユーザーサポート .....	20
保証 .....	20
ユーザーサポート .....	20
調査依頼書のご記入にあたって .....	21
調査依頼書 (CentreCOM RPS9000/PWR9000) .....	22

# 1 お使いになる前に

## 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- RPS9000(1台)
- PWR9000(1台 = RPS9000に装着済み)
- AC電源ケーブル(1.8m・2本)
- DC電源ケーブル(50cm・1本)
- 19インチラックマウントキット(ブラケット2個・ブラケット用ネジ6個)
- 電源ケーブル抜け防止フック(2個)
- 製品保証書(RPS9000用1枚・PWR9000用1枚)
- シリアル番号シール(RPS9000用2枚・PWR9000用2枚)
- インストレーションガイド(本書・1冊)



RPS9000は、一番右のスロットにPWR9000が1台装着された状態で出荷されます。

## 特長

- 4個の電源ユニット用スロットを装備  
オプション(別売)の追加電源ユニット「CentreCOM PWR9000」を追加すると、最大4台のスイッチに電源の供給が可能
- 電源ユニットごとに、電源スイッチとファンを装備
- 使用しているスイッチのコマンドラインインターフェースで、電源とファンの状態が監視可能
- ホットスワップ対応
- 同梱の19インチラックマウントキットを使用してEIA規格標準の19インチラックに装着可能

## 対応機種・ソフトウェアバージョン

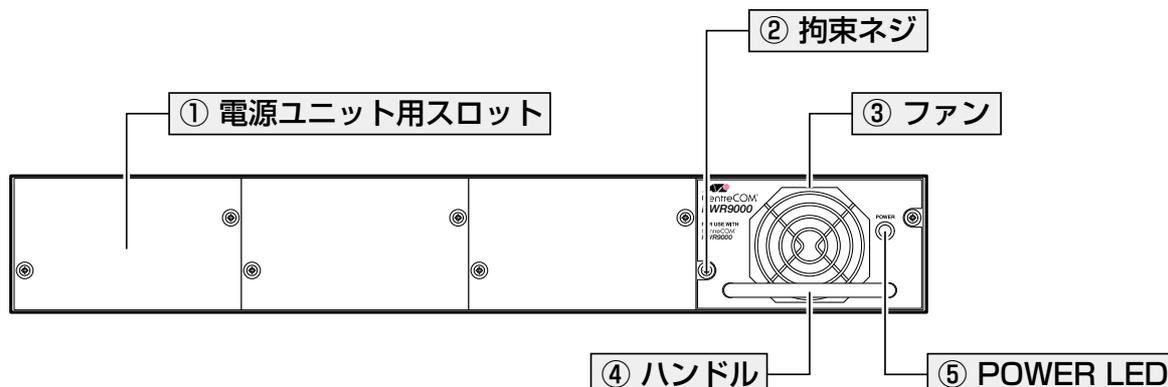
本製品は、CentreCOM 9812T/9816GB(ソフトウェアバージョン:2.4.4 PL05以降)用のリダンダント電源装置です。

その他の対応機種(ソフトウェアバージョン)については、弊社ホームページの「製品」に掲載される場合があります。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

## 2 各部の機能と名称

### 前面



#### ① 電源ユニット用スロット

電源ユニット (PWR9000) を装着するためのスロットです。

一番右のスロットに、PWR9000が標準で1台装着されています。残りの3スロットにはカバーパネルが付いています。

#### ② 拘束ネジ

PWR9000 を RPS9000 に固定するためのネジです。

#### ③ ファン

換気により、本製品内部の熱を逃すためのファンです。



ファンをふさいだり、周囲に物を置いたりしないでください。

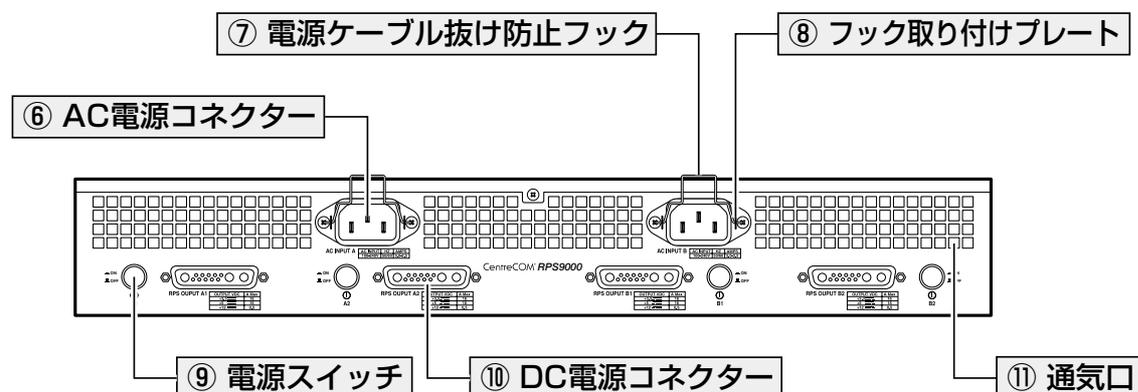
#### ④ ハンドル

PWR9000 の取り付け・取りはずし時に使用するハンドルです。

#### ⑤ POWER LED(緑)

電源の供給状態を表すLED ランプです。

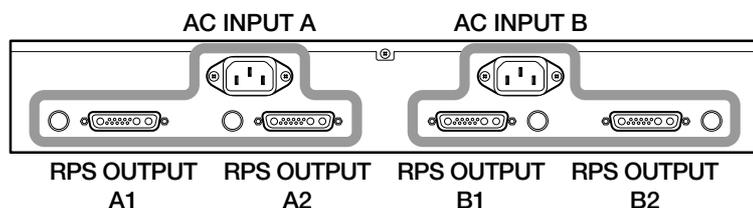
## 背面



### ⑥ AC電源コネクタ(AC INPUT A・AC INPUT B)

同梱のAC電源ケーブルを使用して、RPS9000に電源を入力するためのAC電源コネクタ(計2個)です。

AC INPUT AがRPS OUTPUT A1/A2用の入力電源、AC INPUT BがRPS OUTPUT B1/B2用の入力電源になります。



### ⑦ 電源ケーブル抜け防止フック

電源ケーブルの抜け落ちを防止する金具です。

ご購入時には、フックは取り外された状態で同梱されています。

### ⑧ フック取り付けプレート

電源ケーブル抜け防止フックを取り付けるプレートです。

### ⑨ 電源スイッチ(A1/A2・B1/B2)

電源をオン・オフするためのプッシュスイッチ(計4個)です。

電源スイッチが引っ込んでいる(■)ときはオン、飛び出している(■)ときはオフです。

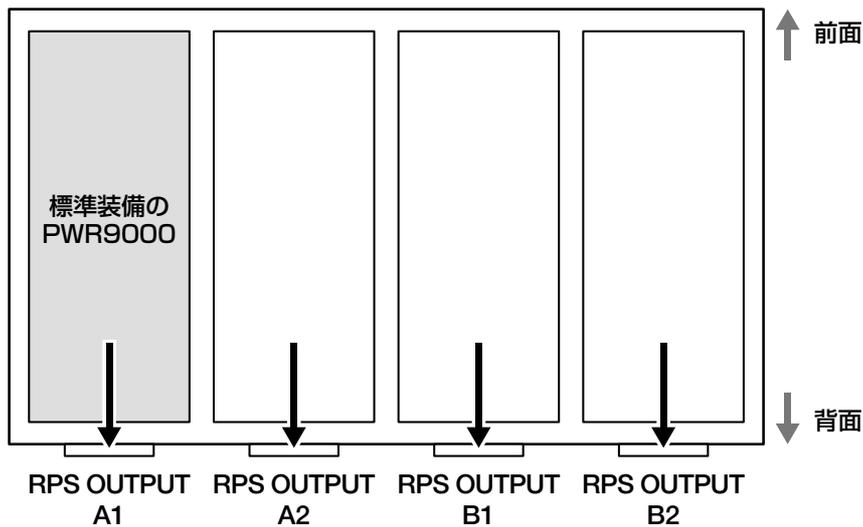
## 2 各部の機能と名称

### ⑩ DC電源コネクタ(RPS OUTPUT A1/A2・RPS OUTPUT B1/B2)

同梱のDC電源ケーブルを使用して、スイッチに電源を出力するためのDC電源コネクタ(計4個)です。

前面一番右の Slots に装着された PWR9000 の DC 電源コネクタは、背面一番左の RPS OUTPUT A1 になります(下図は RPS9000 を上から見た場合)。

前面一番右の Slots



### ⑪ 通気口

換気により、本製品内部の熱を逃すための穴です。



通気口をふさいだり、周囲に物を置いたりしないでください。

# 3 設置

## 設置するときの注意

本製品の設置や保守を始める前に、必ず2ページの「安全のために」をよくお読みください。設置については、次の点にご注意ください。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。
- テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本製品の通気口をふさがないように設置してください。
- 横置きの場合は、傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 本製品の上に物を置かないでください。
- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 本製品は屋外ではご使用になれません。
- 19インチラックに設置する際は、正しいブラケットを使用してください。

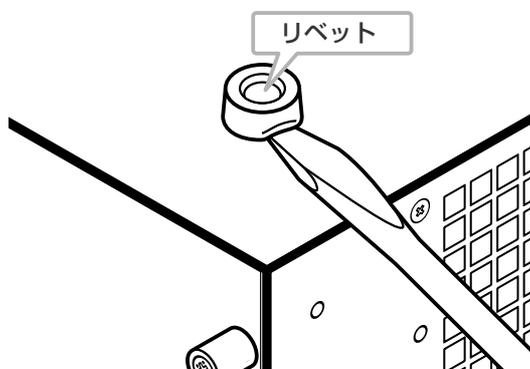
## 19インチラックに取り付ける

同梱の19インチラックマウントキットを使用して、EIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

**!** 19インチラックマウントキットを使用して本製品を設置する場合は、RPS9000のシリアル番号シールを本製品の見やすいところに貼付してください。

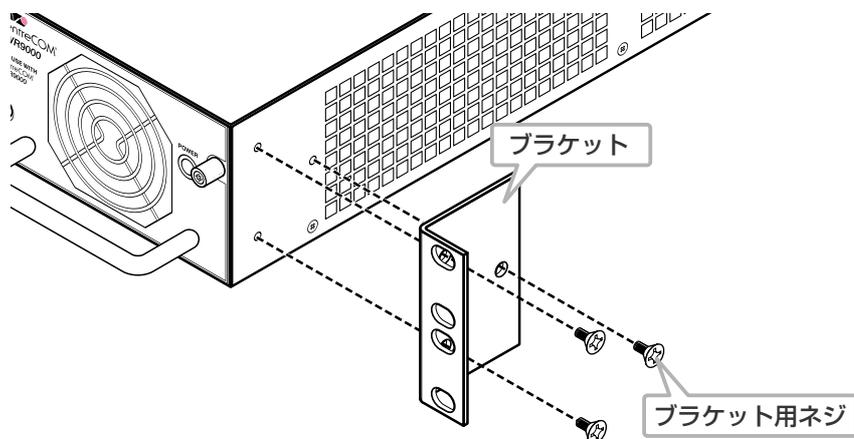
**!** 本製品を19インチラックに取り付けて、3台以上のスイッチに接続する場合は、本製品に対してスイッチが上下2台以内になるように設置してください。

**1** ドライバーなどを使用して、RPS9000底面の四隅にリベットで止められているゴム足ははずします。

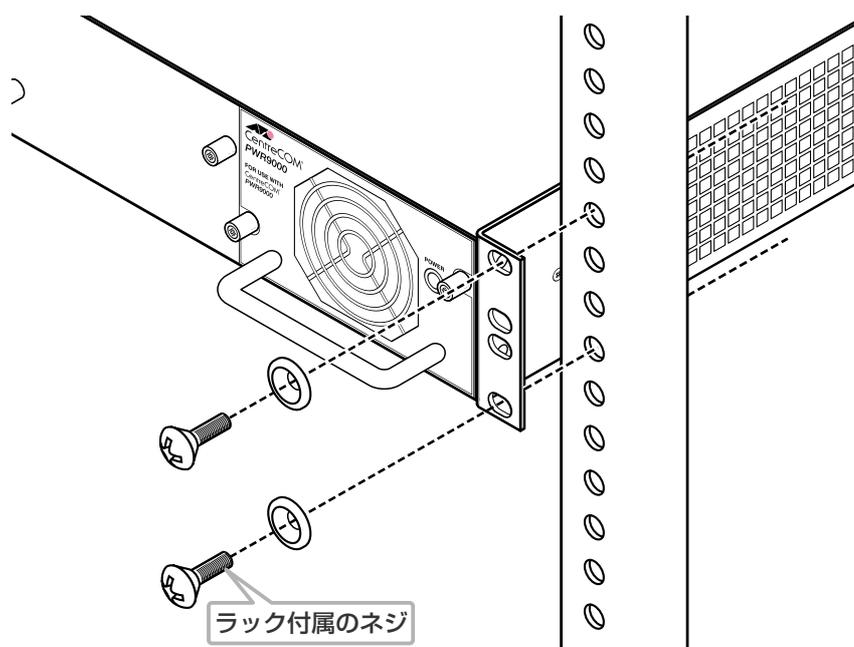


### 3 設置

- 2 同梱のブラケット用ネジを使用して、RPS9000 両側面にブラケットを取り付けます。



- 3 ラックに付属のネジを使用して、19 インチラックに本製品を取り付けます。

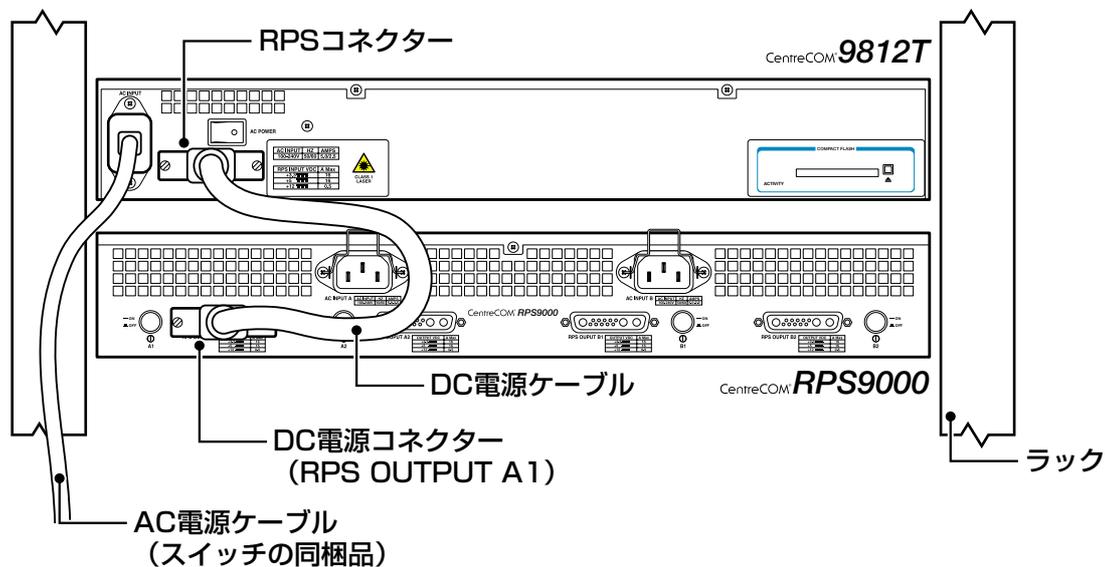


- ▲** ブラケットおよびブラケット用ネジは必ず同梱のものを使用し、19インチラックに適切なネジで確実に固定してください。  
固定が不十分な場合、落下などにより重大な事故が発生する恐れがあります。

# 4 接続

## スイッチに接続する

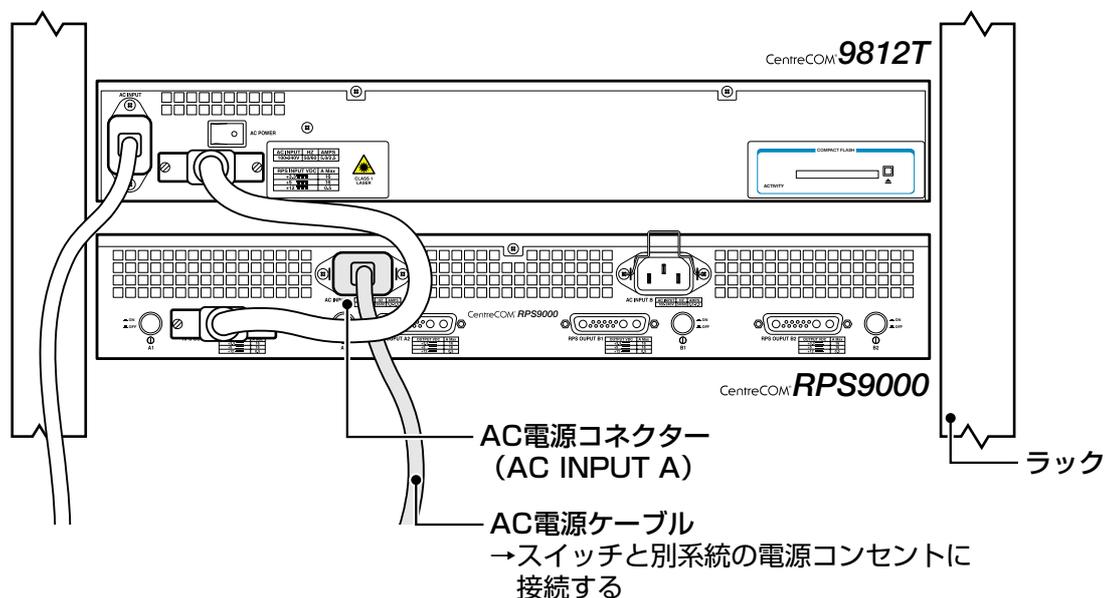
- 1 同梱のDC電源ケーブルを使用して、スイッチ(ここでは、CentreCOM 9812Tと仮定します)のRPSコネクタと、RPS9000背面のDC電源コネクタ(RPS OUTPUT A1)を接続します。このとき、スイッチの電源を切る必要はありません。



- 1 **!** DC電源ケーブルは、コネクタの左右にあるネジで本体にしっかりと固定してください。

- 2 同梱のAC電源ケーブルをRPS9000背面のAC電源コネクタ(AC INPUT A)に接続します。このとき、14ページの「電源ケーブル抜け防止フックを取り付ける」を参照して、電源ケーブルが抜け落ちないように抜け防止フックでロックします。次に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

- 1 **i** AC INPUT AがRPS OUTPUT A1/A2用の入力電源、AC INPUT BがRPS OUTPUT B1/B2用の入力電源になります。



## 4 接続

- 3 RPS9000 背面の電源スイッチ (A1) をオンにします。  
本製品に電源が供給されると、PWR9000 前面の POWER LED (緑) が点灯します。

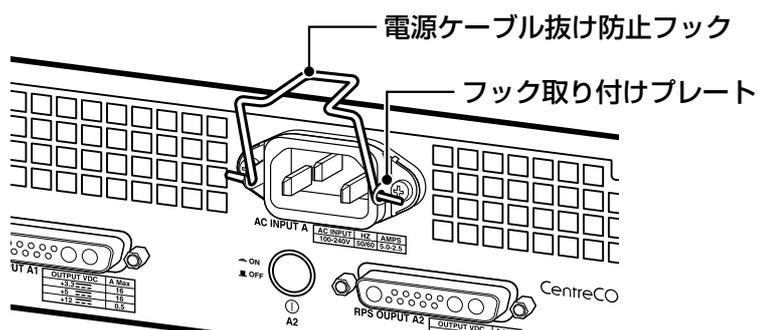
スイッチの故障などにより、スイッチを取り外す場合は、該当のスイッチが接続されている PWR9000 の電源スイッチをオフにして、DC 電源ケーブルを外します。

! サークットブレーカーの遮断などによる商用電源の供給停止に対応するには、RPS9000 の AC 電源ケーブルはスイッチの AC 電源ケーブルと別系統の電源コンセントに接続してください。

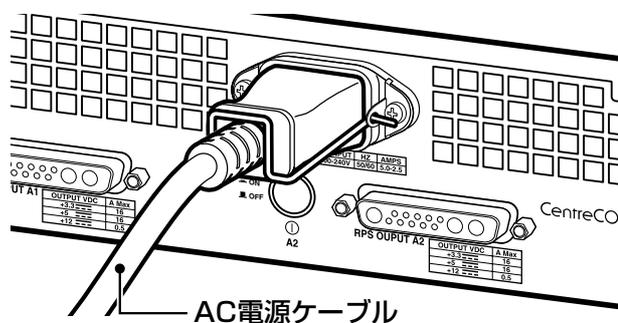
! 本製品は AC100-240V で動作します。指定以外の電圧で使用しないでください。また、本製品を AC100V で使用する場合は、同梱の AC 電源ケーブルを使用してください。不適切な電源ケーブルやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。

### 電源ケーブル抜け防止フックを取り付ける

- 1 同梱の電源ケーブル抜け防止フックを RPS9000 背面のフック取付プレートに取り付けます。



- 2 電源ケーブルを RPS9000 背面の AC 電源コネクタに接続します。
- 3 電源ケーブル抜け防止フックで電源ケーブルが抜けないようにロックします。



# 5 追加電源ユニット

オプション(別売)の追加電源ユニット「CentreCOM PWR9000」を追加すると、RPS9000は最大4台のスイッチに電源を供給することができます。

## PWR9000の梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- PWR9000(1台)
- DC電源ケーブル(50cm・1本)
- 製品保証書(1枚)
- シリアル番号シール(2枚)
- インストレーションガイド(本書・1冊)

## PWR9000を取り付ける

**i** 新しいPWR9000を取り付けるときに、RPS9000やスイッチの電源を切る必要はありません。

### 1 空のスロットにPWR9000を装着する場合

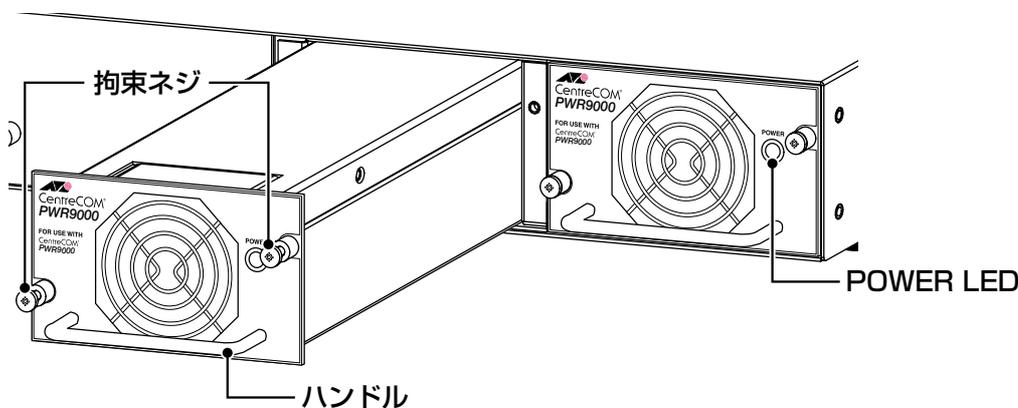
カバーパネルの拘束ネジをドライバーでゆるめて、カバーパネルをはずします。

**!** カバーパネルは、PWR9000を装着するとき以外ははずさないようにしてください。

### PWR9000を交換する場合

装着済みのPWR9000の拘束ネジをドライバーでゆるめて、ハンドルを持って引き出します。

**2** 新しいPWR9000をハンドルを持って電源ユニット用スロットに差し込み、PWR9000の前面パネルがRPS9000の前面とそろう位置まで押し込みます。



**3** PWR9000の拘束ネジをドライバーでしめます。

**4** 13ページの「スイッチに接続する」を参照して、各ケーブルを接続してください。

# 6 電源状態のモニター

CentreCOM 9812T/9816GB のLED やコマンドラインインターフェースで、本製品(リダンダント電源装置)の状態を監視する方法を説明します。

## 状態監視(RPSMONITOR)を有効にする

リダンダント電源装置の状態を監視するには、SET SYSTEM RPSMONITOR コマンドによる状態監視の有効化が必要です。

### 使用コマンド

```
SET SYSTEM RPSMONITOR={ON|OFF}
```

### パラメーター

RPSMONITOR : リダンダント電源装置の状態監視。ON(有効)/OFF(無効)で指定します。デフォルトはOFFです。OFFの場合、LED やコマンドラインインターフェースで本製品の状態を表示することはできません。

## LED の表示

スイッチ前面のステータスLEDで、リダンダント電源装置とスイッチの電源(とファン)の状態を表示します。

LED	色	状態	表示内容	
FAULT	赤	点灯	スイッチに異常が発生しています。	
		点滅	1回点滅の繰り返し	スイッチのファンに異常が発生しています。
			2回点滅の繰り返し	リダンダント電源装置のファンに異常が発生しています。
			3回点滅の繰り返し	スイッチの電源ユニットに異常が発生しています (リダンダント電源装置のみで電源が供給されています)。
			4回点滅の繰り返し	リダンダント電源装置の電源ユニットに異常が発生しています。
			5回点滅の繰り返し	リダンダント電源装置が接続されていません。
		消灯	スイッチは正常に動作しています。	
RPS	緑	点灯	リダンダント電源装置からスイッチに電源が供給されています。	
		消灯	リダンダント電源装置に電源が供給されていません。	
PWR	緑	点灯	スイッチに電源が供給されています。	
		消灯	スイッチに電源が供給されていません。	

※「3回点滅の繰り返し」とは、3回の点滅と約2秒間の消灯を繰り返すことを意味します。どの点滅回数でも、消灯は約2秒間です。

## コマンドラインインターフェースの表示

SHOW SYSTEMコマンドで、リダンダント電源装置とスイッチの電源とファンの状態を表示します。

```
Manager > show system 

Switch System Status                               Time 18:24:38 Date 31-Mar-2003.
Board      ID  Bay Board Name                               Rev      Serial number
-----
Base       185   9816GB                               M4-3     49982766
-----
Memory -   DRAM :131072 kB   FLASH : 15360 kB
-----
SysDescription
CentreCOM 9816GB version 2.4.4-05 20-Mar-2003
SysContact

SysLocation

SysName

SysDistName

SysUpTime
13596 ( 00:02:15 )
Boot Image      : 98B104.fbr size 1024456 27-Sep-2002
Software Version: 2.4.4-05 20-Mar-2003
Release Version : 2.4.4-00 04-Sep-2002
Patch Installed : Test patch
Territory       : japan
Help File       : help.hlp

Main PSU       : On           Main Fan       : On
RPS Monitor    : On           RPS Connected  : Yes
RPS PSU        : On           RPS Fan        : ***OFF***
Current Temperature : 38 Celsius

~以下、省略~
```

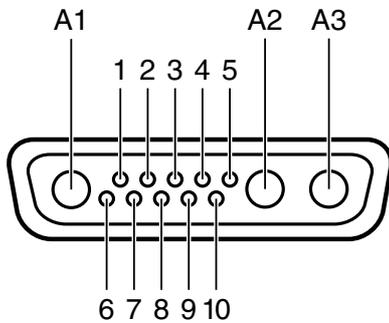
各パラメーターの意味は次のとおりです。

Main PSU	スイッチ内蔵電源の状態。On(電源オン)/Off(電源オフ)で表示します。
Main Fan	スイッチ内蔵ファンの状態。On(異常なし)/Off(異常あり)で表示します。
RPS Monitor	リダンダント電源装置状態監視の有効・無効。On(有効)/Off(無効)で表示します。
RPS Connected	スイッチとリダンダント電源装置の接続状態。Yes(接続)/No(未接続)で表示します。
RPS PSU	リダンダント電源装置の電源の状態。On(電源オン)/Off(電源オフ)で表示します。
RPS Fan	リダンダント電源装置のファンの状態。ON(異常なし)/OFF(異常あり)で表示します。

# 7 仕様

## コネクターの仕様

DC電源コネクターのピン配列は以下のとおりです。



ピン番号	信号内容
A1	5V DC
A2	Ground (5V DC, 3.3V DC, 12V DC)
A3	3.3V DC
1	Redundant Power Supply (RPS) Present
2	Remote Sense (RS) +3.3V DC
3	+12V DC
4	RPS Fan Signal
5	Ground (5V DC in, 3.3V DC, 12V DC)
6	Remote Sense (RS) +5V DC
7	Remote Sense (RS) Ground
8	+12V DC In
9	Not Used
10	Ground (5V DC in, 3.3V DC in, 12V DC)

## 本製品の仕様

	RPS9000	PWR9000
適合規格		
安全規格	UL60950, CSA-C22.2 No.60950	
EMI規格	VCCIクラスA	
電源部		
定格入力電圧	AC100-240V	
入力電圧範囲	AC90-264V	
定格周波数	50/60Hz	
定格入力電流	5.0A <sup>*1</sup>	2.5A
最大入力電流 (実測値)	2.6A <sup>*1</sup>	1.3A
平均消費電力	200W (最大220W) <sup>*1,*2</sup>	100W (最大110W) <sup>*3</sup>
平均発熱量	720kJ/h (最大790kJ/h) <sup>*1,*2</sup>	360kJ/h (最大400kJ/h) <sup>*3</sup>
定格出力	DC3.3V/16A, DC5V/16A, DC12V/0.5A <sup>*4</sup>	
環境条件		
保管時温度	-20~60℃	
保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)	
動作時温度	0~40℃	
動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)	
外形寸法		
	440(W)×357(D)×66(H) mm	109(W)×254(D)×63(H) mm
質量		
	5.6kg	1.3kg

※ 1 AC 電源コネクタ (AC INPUT) 1 個につき

※ 2 CentreCOM 9816GB (GBIC モジュール「AT-G8T」16 個装着) を 2 台接続時

※ 3 CentreCOM 9816GB (GBIC モジュール「AT-G8T」16 個装着) 接続時

※ 4 DC 電源コネクタ (RPS OUTPUT) 1 個につき

# 8 保証とユーザーサポート

## 保証

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。



RPS9000にはあらかじめPWR9000が1台装着されているため、シリアル番号シールは、RPS9000用とPWR9000用の2種類が同梱されています。シリアル番号の頭6桁をご確認の上、各シリアル番号シールを「お客様インフォメーション登録カード」に貼付し、ご返送ください。

- シリアル番号の頭6桁  
RPS9000 → 005564  
PWR9000 → 005565

## 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、当社はその責をいっさい負わないこととします。

## ユーザーサポート

本体の故障などのユーザーサポートは、「製品保証書」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。FAXでご連絡いただく場合は、巻末の「調査依頼書」を(拡大)コピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。記入内容などについては、次ページ「調査依頼書のご記入にあたって」を参照してください。

## サポート連絡先

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772

祝・祭日を除く月～金曜日 9:00～12:00  
13:00～18:00

Fax: ☎ 0120-860-662

年中無休 24時間受付

## 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、障害の原因をできるだけ早く見つけるためにご記入いただくものです。ご提供いただく情報が不十分な場合には、原因究明に時間がかかったり、最悪の場合には、問題が解決できないこともあります。

迅速に問題の解決を行うためにも、弊社担当者がお客様の環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。

記入用紙に書ききれない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

なお、状況によりご連絡が遅れることもございますが、あらかじめご了承ください。

### 使用しているハードウェアについて

- 製品名、シリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。シリアル番号、リビジョンは製品に同梱されている(RPS9000、およびPWR9000に貼付されている)シリアル番号シールに記載されています。どちらの製品のシリアル番号シールかは、下図のようにシリアル番号の頭6桁で識別してください。

RPS9000



PWR9000



### お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。

### ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

# 調査依頼書 (CentreCOM RPS9000/PWR9000)

年 月 日

## 一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご担当者名:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ( )

FAX: ( )

2. 購入先: 購入年月日:

購入先担当者:

連絡先(TEL): ( )

## ハードウェアとネットワーク構成

1. 製品名、シリアル番号(S/N)、リビジョン(Rev)

製品名: CentreCOM RPS9000 (CentreCOM PWR9000 × 1 付)

CentreCOM RPS9000 のシリアル番号・リビジョン:



S/N \_\_\_\_\_ Rev \_\_\_\_

CentreCOM PWR9000 (装着済み) のシリアル番号・リビジョン:

DC 電源コネクタ: RPS OUTPUT A1

接続先のスイッチ: CentreCOM \_\_\_\_\_



S/N \_\_\_\_\_ Rev \_\_\_\_

CentreCOM PWR9000 (オプション) のシリアル番号・リビジョン:

DC 電源コネクタ: RPS OUTPUT \_\_\_\_

接続先のスイッチ: CentreCOM \_\_\_\_\_



S/N \_\_\_\_\_ Rev \_\_\_\_

DC電源コネクター：RPS OUTPUT \_\_\_\_

接続先のスイッチ：CentreCOM \_\_\_\_\_



S/N \_\_\_\_\_ Rev \_\_\_\_

DC電源コネクター：RPS OUTPUT \_\_\_\_

接続先のスイッチ：CentreCOM \_\_\_\_\_



S/N \_\_\_\_\_ Rev \_\_\_\_

2. お問い合わせ内容

別紙あり

別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり

別紙なし

簡単な図で結構ですからご記入をお願いします。

